

47 ヨハネ 14章 15-26節

※先週の箇所には大切な真理がいくつか教えられていましたね、「イエス様を見たものは、父なる神を見たのだ」(とりあえずこれはその当時の弟子たちに当てはまることですが…でも今日の箇所でそれが私たちにも当てはめられるようになります)。そしてそういうイエス様を信じる者は、「イエス様が行うわざを行い、さらに大きなわざを行う」(12)とか、「イエスの名によって求めることは、何でもそれをしていただける」(13)という凄い約束までいただいています。クリスチャンになったら、そういうことをどんどん体験していったらいいですね。体験できたことがあなたを本当の証人としますよ(体験できてない方は、なりたくても証人になれませんね、とてももったいないことです)。さあ、今日の箇所では、それを可能にする秘訣についても教えられているとも言えます。一緒に学び、考えてみましょう。

1、15節の御言葉は大切な御言葉です。書き記し、暗唱してみましょう。

・「わたしの戒めを守る」…とされていますが、そのイエス様の戒めにはどんなものがありましたか？
マタイ 5-7章(山上の垂訓) ルカ 6章 17-49節(平地の垂訓) そして4福音書を参考…

※イエス様を愛しているなら、これらのことを守る(実行する)(その中に生きようとする)…心に刻んでいきましょう。

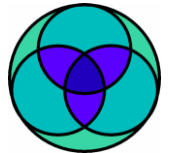
2、(16-20)にはイエス様の後に来られる誰かのことが教えられています。

・誰だと言われていますか？(名称と共に特徴)

・その方が来るとどのような事をしてくださる(可能となる)と言われていますか？

4、(21)には神の御心の究極的な図式の成就が示唆されています、御言葉を書き記しましょう。

※これは奥義の分野になります。そしてこれは $1+1+1=1$ という世界の話になるからです。そしてこれは私たちの想像をはるかに超える愛の世界、生き生きした愛の世界の話になります。三つの「1」は、それぞれ「御父」、「御子」、「御霊」を意味し、イコール 1 は、「三位一体の神」を表しています。そして三位格一ラテン語でペルソナ(persona)と言いますが、最後の「a」の文字を取って、英語読みにするとパーソン(person)となります。イエスを愛し、その戒めを守るものにはこれがあなたの内にも成就するということなのです。



5、逆に「イエス様を愛さない人」にはどのような特徴があるでしょう(24)

※自分はどこにいるでしょうか？本当の意味でイエス様を愛しているものでありたいですね。心に示されることがあるなら祈りましょう。

・参考「イスカリオテでない方のユダ」(22)とは、「タダイ」とも呼ばれている弟子です。

6、イエス様はどのようなお方ですか？